夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金五錢 一ケ月 金一圓八十錢 郵稅 一ケ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三三〇〇番・二二二五番
發行人 十河榮忠男　編輯人 松本　印刷人 谷啓二郎

滿洲國の經濟治安に關し新方針協議に 小磯參謀長上京す

小磯參謀長は昨日午後四時半新京發、周水子に向つた、周水子飛行場に於ける愛國滿洲號の命名式後上京の筈であるが、今次の上京は

一、滿洲に於ける資本統制の根本案

二、滿洲國の治安維持に關する根本方針

三、討伐後の熱河の警備制度等の重要案件について中央當局との間に必要打合せを爲す爲で、その結果滿洲に於ける經濟並に警備方針に關する根本方針確立すべく、參謀長今次の上京は注目さる

商品廉賣列車 いよ〳〵五月に實行

〔奉天十二日發國通〕國路總局の商品廉賣列車は來る五月を期し經費約五萬元を以て實行されることゝなつてゐるが、同列車は八輛連結を以て日本商品の廉賣紹介の外慰安列車、醫療列車等も連結、從業員の慰安、治療を行ひ併せて當局の宣傳をなす筈である、從來の船使以外何物もなかつた滿洲國國路從業員の上にも斯くて王道政治の恩惠が與へられることゝなつた

營口電燈會社が 朝陽、北票に進出

〔營口十二日發國通〕朝陽、北票附近には從來電燈線の設備なく、住民の不便少なからざるに鑑み營口電燈會社に於ては同地の電燈線架設を計畫する事となり、近く之が工事に着手する事となつた

京鐵管內 在貨 四月上旬合計

京鐵管內に於ける本月初旬の構內及び院內在貨旬計左の如し

構內在貨

驛	在貨
鐵嶺	三、〇三〇瓩
開原	三、二一〇瓩
昌圖	五四〇瓩
双廟子	一三〇瓩
四平街	一、一一二瓩
郭家屯	一、二九〇瓩
公主嶺	二、七三〇瓩
劉房子	一五〇瓩
陶家屯	二一〇〇
范家屯	二、一〇〇
大屯	二、一〇〇
新京	八、一五九
合計	二四、七六一

右內譯

品目	數量
大豆	二三、一・)
高粱	二四〇
玉蜀黍	九〇
[illegible]	六三〇
雜穀	三五七
木材	一八
豆粕	九一
其他	一、二二九

院內在貨

驛	在貨
鐵嶺	一一、八九六瓩
開原	七四、四九七
昌圖	二、五二〇
双廟子	四、九五〇
四平街	六五、八九〇
郭家店	六、六八〇
公主嶺	六〇、五四九
范家屯	一四、九二〇
新京	七四、七六〇
合計	三一六、六一八

內譯

品目	數量
大豆	一一九、七七四
高粱	一〇七、〇八〇
玉蜀黍	一一、〇〇七
粟	二九、八〇一
雜穀	二六、五六九
木材	一九、九七四
豆油	五一六
豆粕	一、四一三
其他	四八四

熱河省事情 ([illegible])

鑛業に關する「結論」(東內部蒙古調查報告) アルターなる蒙古語は金の意味を有すアルター山脈はその名の示す如く金の山脈ならんか然りと雖も前にも述べたるが如く赤峰以北殊に同山脈に就ては鑛物產出地を知ることを得ざりき、然れども單一の通過に際して偶然にも金鑛、銅鑛の發見をなせり、之に依て見るもアルターは其名實相伴ひ金及其他の金屬に豐富なるべき山脈なるを想像するに足る、今回の旅行に際して鑛產地として舉ぐるものは主として赤峰以南の地なり而して踏查せるもの及探知せるものに就きて表示すれば左の如し

	未踏查地	踏查地	合計
金鑛	四一	九	六〇
銀鉛鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金銅鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石綿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石油	[illegible]	[illegible]	[illegible]
泥炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
曹達	[illegible]	[illegible]	[illegible]
硝石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
硫黃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
螢石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砂金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水晶	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寶石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
翡翠	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他礦物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雲母岩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石灰岩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	一七四	二九	二〇三

前記の如く踏查せるは僅に二九にして合計二〇三なり、此數たるや今後開發發見せらるべきものに比せば論ずるに足らざる少數なるもののみならず既に發見せられたるものにして聞知し能はざりしものに比するも頗る少なるものならん

かくの如く簡單なる豫察により此等鑛產地の價値を論ずるは其の當を得ざるものなれども金鑛に就ては金廠溝梁の有する黑大山脈、石炭に就ては朝陽を中心とせる東北阜新縣より西南喇沁左翼族に亙る大炭田及赤峰を中心とし北より西南に延びたる大炭田等は最も有望なる鑛產地帶と稱すべきものならん、其他の地方に就てはより以上に有望なる地帶あるやも知れざれども豫想すべき材料なし、然れども今後の開發は上記地方よりも何等人工を加へざる純蒙古に俟つべきもの多からんか此等鑛山の開發方法としては第一に交通の便を開き最も安價に安全に貨物鑛石の運搬をなすにあり、第二には動力を最も容易に且つ安價に得るにあらん

六主要都邑

承德(通稱熱河)

熱河は北平、赤峰を距る約四百二十支里、古北口の東北百九十支里、灤平の東方四十支里に位し、赤峰、朝陽方面より北平に通ずる大街道の要衝に當り、蒙古名「ハラガヌゴール」と云ふ。熱河省政府並承德縣公署所在地として熱河省の政治的中心地である。市街は四周山岳の間に在り、城壁はないが西約五支里南北四支里に亘り內外街衢は至つて不規則である、又、清朝避暑山莊の遺蹟や大寺廟が清朝往年の繁盛時代を物語つてゐる

戶數 三九九〇戶
人口男 一一〇五六人
女 七〇六九人

灤平

この地はもと熱河廳の治域であつたが、雍正十一年承德廳に改め、州衙を此地に移し、而して乾隆七年再び州を熱河に更め、熱河に移すと共に喀喇河屯廳を新設した、今尙ほ地名を喇河屯と稱するのもそれがためである。其後乾隆四十三年今の縣に改め茲に縣署公署を置き今に至つた

戶數 約一、五〇〇戶
人口 約七、〇〇〇人

熱河より北平に通ずる要路に當り、東は灤河に臨み平野展開せるも、南、西の兩面は山岳連亘し、街衢は東西一支里半、西北約一支里を有し主な商戶は西街及南街にあるも唯縣公署を生命とするのみで殷盛ではない

產物の主なるものは穀類及藥材(黃芩、赤勺、桔梗、紫胡、遠智、防風烏[illegible]子等)毛皮等で穀類は灤洲方面より來る、民船が、何れも各県產地に於て收買して歸る關係上、當地に來集するものは僅かに附近產出のものに限り、粟を主とし、高粱、雜穀之に次ぐ

日印通商條約廢棄 當局對策を考究

〔東京十二日發國通〕松本大使發外務省着の公電によるとイギリス外相は一九〇四年の日印通商條約は十月十日を以て滿期となる旨通告したと、右は最惠國約款と關連し我國の對印度貿易に與ふる打擊甚大で外務省としても、之が對策を考究して居るが外務當局の意向としては條約廢棄實現迄六ケ月間の餘猶が有るので內容を見た上で我損害を最少限度に喰止めるやう最善の努力を致す方針である右に關し日清紡績宮島社長は左の如く語る

私見によるとダンピング稅課稅の前程ではないかと思ふが、稅率如何では影響大だ場合によつては操短も已むを得ないかも知れぬ、しかし無茶な課稅は印度側が承知しまいと思ふ

我綿業界 影響甚大

〔東京十二日發國通〕日印通商條約破棄は我綿業界に對し影響頗る甚大なりと懸念されてゐる、即ち條約破棄はダンピング稅附加を可能にし、且つ破棄通告後六ケ月以後は無條約國として他國品と差別的孤立關稅を設け得るのだ、六ケ月後印度政府が如何なる態度に出るか今から豫想することを紡績界では避けて居るが[illegible]ダンピング稅を附加することは避け得ないと一般に觀測したゞその稅率が注目の焦點となつてゐる、紡績聯合會は近く委員會を開き對策を協議するが七月以後の操短率擴張は無論現行操短期限滿了を待たずに現行二割七步六厘の操短率擴張を見るが出ると觀られる、一方問題を世界經濟會議の議題とすべしとの意見有力となつた

興安省要覽 近く出版

興安省とはどんな所であるかと言ふ事を世人に最も正確に且つ簡便に知らせるため豫てより興安總署に於て編纂中であつた興安省要覽は此程大体編纂も終つたので愈々菊[illegible]判の[illegible]閱了を待つて出版される計りとなつた

日印通商條約廢棄

〔ニューデリー十一日發國通〕去る八日印度ダンピング防止法案を提出した印度政廳は愈々一九〇五年の日印通商條約を廢棄するに決し商務長官は十一日立法議會にダンピング防止法案の審議開始の動議を提出するに當り、印度政廳は一九〇五年の日印通商條約を廢棄する手續を執つた、之によつて右條約による最惠國の待遇は六月後其從來の勢力が失はれると聲明した

怪人凱歌 (百九十三)

(舞臺上演 映畫化) 須藤鐘一 (畵) 流 秋方

[illegible] (四)

突然飛びこんだお曾代の外光に慣れた眼では、まるで內部に何も認めることは出來なかつた。しかし、何となく其の中に、人間かものか知らないが、生きものゝ潜んでゐる氣配を感じたのであつた。で、むしやうに氣味が惡くなり、剛足さへ少し震へてゐなかつたら、すぐにも其處から飛び出し度かつたのであるが、相憎、雨はまるで白布を垂らすやうな土砂降りの最中である。

彼女は、暫らくそこに立つたまゝ、途方にくれて空を見上げてゐるのだつた。

三分、五分、のろ〳〵した時間が過ぎた。お曾代にとつて、それは三十分、一時間にも等しい長さに感じられた。心は沸き立つ湯のやうに苛立ちながらも、身體は釘づけにされたやうに微動だもしなかつた。

雨は、容易に止みさうにもなかつた。そのうち、彼女はだん〳〵と小屋の中の空氣に對する恐怖が募つて、一種の強迫觀念に取りつかれ、もう暫しもそこに踏みとゞまつてゐられないやうな氣持に驅り立てられた。

まゝよ、着物などはどんなに濡れたつて汚れたつて構はぬ、兎に角、此の不氣味な小屋を離れて、安心の出來る農家へでも驅けこまうと決心した。

そこで、一層高く裾をからげて一足外へ踏み出さうとした。すると、彼女は突然うしろから、ぐつと抱きとめられたのである。それが餘り突然だつたので、彼女は只恐ろしく強い力を上半身に感じただけであつた。息がつまりさうになつた。

『あッ!』

思はず彼女は叫んだ。次ぎの瞬間には、身體をふり切つて脱れようとしたが、どうしても大盤石にはさまれたやうにピクともすることが出來なかつた。

『あ、放して下さい!』

お曾代は恐ろしさに相手の方を振り向くことも得せず、ふるへる聲を顫まして云つた。

『姐さん、まだ雨がひでえよ。もう少し待つてつしやい』

と、抱きすくめた手をそろ〳〵と緩めながら、うしろの者は初めて口をきいた。案外おとなしい口ぶりである。

彼女のおびえにいぢけ切つた心も、不思議に少しほぐれて、後をふりかへつて見るだけのゆとりを生じたのである。

此の時、彼女の眼も大分闇に馴れて來たので、朧げながら其の人相を認めることが出來た。

それは二十七八位の村の若者であつた。眼も鼻も口も、すべての造作が大まかに、荒ッぽく出來上つてゐる上に、下つた眼尻、締りのない口元、そして顏全體にたゞよふ鈍重さと、寧ろ白痴かと思へる弛緩した表情とが、此の場合、ちよつと彼女の心をやはらげた。で、まづ、

『あなたどうか放して下さい』とおとなしく睨んで見た。

『放してもえゝが、姐さん逃げ出しちやいけねえぜ』

『えゝ、逃げませんよ』

お曾代は、だん〳〵落ちついて來て斯う云ひながら相手に安心させるやうに、入口から二三歩奥へ入つた。

『さうけえ、ぢやア雨の止むまで此處でおとなしくしてゐるだね?』

若者はじろ〳〵と女の白い、しなやかなうなじのあたりを貪るやうに眺めつゝ、兩腕の力はスッカリ拔かしても、やはり未練がましく掴いた手を緩めかなかつた。雨に濡れてぴつたりと肌にくつゝいた彼女の着物を通して、こゞしき若者の腕に感じられる、やはらかな肌觸り、脈々と通つて來る體温と、精巧な懷中時計のやうな脈搏の響き。

若者は眼を細くして、うつとりしてゐたが、

『逃げ出さうとしても駄目だぜ』

と、念を押しておいて、やつと腕を解いた。

『まア、こゝさ腰かけるがえゝだよ。さア……』

今度は、女の手をつかんで、奥の方へ引いて行かうとするのである。

お曾代は此の時、眼下に千仭の谷を俯瞰するやうな恐怖が、再び襲つて來るのを感じた。

支那軍士氣振はず
何應欽焦燥の極點
前線將領は勢力保全に熱中
崩壞の過程を辿る

【北平十二日發國通】何應欽は前線各軍將領に對し、連日抗日逆襲を命じて居るが、各軍の士氣は甚だ振はず、殊に勝目なきを悟つた前線の將領中には、將來を考慮し、自己の勢力保全を圖り、何應欽の命に從ふが如く見せかけ、事實は出來る丈け犧牲を少なからしめんと腐心しつゝあるもの多數あり、何應欽は支那軍崩壞の過程に直面し焦燥の極に達して居ると

何軍戰意全く喪失
石門寨奪回を命ぜられた

【北平十二日發國通】何柱國等は何應欽により過日來灤東附近即ち撫寧鎭、石門寨の奪回を命ぜられたが、日本軍を怖れ戰意なく自分は自己統帥の第百九師を傷むるに忍びずと側近者に漏してゐるが、結局は何柱國の意中は部下に言を藉りて逆襲に出る勇氣も既に喪失したものと見られる

冷口激戰に於る
敵軍損害
遺棄死体六百を越ゆ

【冷口十二日發國通】昨十一日夕方まで激戰を續けた冷口正面の敵の損害は敵の遺棄せる屍体六百を越へ附近士民の言によると彼等の運び去つた死体、負傷者は非常な數に上るとのことで右部隊は商震軍第百三十九、第百四十一、第百四十二師であることが判明した

右瀨枝隊奮戰
敵を灤河右岸に擊退
潰走する敵兵千を越ゆ

坂本兵團は十二日引續き敗敵を急追中で右瀨枝隊は午後四時程各庄附近で敵の樞要なる陣地を突破しこれを灤河右岸周家營に擊退した、潰走する敵は千を越え死傷算なし、又中央追擊隊も正面の敵を三里營方向へ追擊中で更に坂本兵團の左翼に連擊して前進した、宮崎枝隊は敵の頑強なる抵抗を擊破し十一日午後二時長城線を突破して包各庄に達し續いて梁家庄に至り追擊前進中である

服部部隊

服部々隊は十二日早朝來受益店南方高地の敵を攻擊中で右翼隊は逐次突擊をもつて堅固なる陣地を占據し後方の陣地に攻擊中、又左翼隊も肉彈をもつて敵の二個の據點を奪取し敵を東方に追擊中でこの攻擊に於て百武部隊は勇敢なる突擊を反覆して敵線を蹂躪し至る處多大の損害を與へた

中村部隊猛擊

中村部隊は十一日猛擊により海嶺口街道以東の敵陣地を奪取し石家溝高地及石牌家東方の敵は頑强に抵抗を持續し又青山口方面よりは一部の敵兵逆襲し來り我右翼部隊は三百米に對峙せり、將兵は十二日朝來突擊を行ひ遂に午前十時半頃石家溝南側高地の一角を占據した、十一日の戰鬪に於ける我が損害は戰死兵一名負傷將校以下十八名にして敵の戰場遺棄せし死體は百五十に達し相當多くの損害を蒙つた模樣である

多倫方面に
敵兵匪集結す

察哈爾方面に於いては舊東北政權の指令を受けた山西軍並に張學良の騎兵第一旅粗々さ多倫方面に集結し、熱河回[illegible]に依つて追ひ拂はれた湯占[illegible]其他の匪團を加へて相當の勢力を有し機を見て攻勢に轉ぜんとしてゐるが之に對し滿洲國軍は「やつて來たら一討ち」と手具脛引いて待ち構へてゐる

皇軍入城に
萬腔の信賴

坂本兵團が十一日建昌營に入城するや皇軍の入城を歡迎した住民は萬腔の信賴をかけ市況も漸次恢復して活氣を呈し王道樂土の恩惠に浴しつゝある

遼西僞勇軍
潰滅に瀕す

【新京十三日國通】既報の如く熱河東部方面に殘存する遼西僞勇軍を殲滅すべく猛烈なる活動を開始した、靖安軍は八日阜新を占領したが更に敵を西南に急追中、十一日拂曉同地西南三十粁の地點に於て約三千の遼西僞勇軍と交戰し激戰の後之に致命的打擊を與へた此猛擊に依り遼西僞勇軍の意氣全く沮喪し潰滅の日近きにありと見られてゐる

滿洲事變の
尊き犧牲者
戰死一四七九名
戰傷三四六八名

【東京十二日發國通】滿洲事變の尊き犧牲者たる名譽の戰死傷者數につき陸軍省は次の如く發表した
滿洲事變開始以來本年四月十日までの戰死者は千四百七十九名、戰傷者は三千四百六十八名で總計四千九百四十七名に上る、その內譯は左の通りである

部隊	區分	人員
關東軍	戰死及戰傷死	一千三百九十七名
	戰傷	三千二百七十五名
	計	四千六百七十二名
間島派遣部隊	戰死及戰傷死	二十九名
	戰傷	七十三名
	計	百二名
朝鮮國境部隊	戰死及戰傷死	四十六名
	戰傷	八十名
	計	百二十六名
支那駐屯軍	戰死及戰傷死	七名
	戰傷	四十名
	計	四十七名

露人飛行縱操者
に解散命令

【北平十二日發國通】張學良の指揮下に在つた北平飛行隊では從來露人操縱者が雇はれてゐたが、今般右に對し解散命令が發せられた

抑留の車輛を
一ケ月內に返還せよ
中東鐵滿洲國代表より通告

【ハルビン十二日發國通】東支鐵道滿洲國代表李紹庚氏はソヴイエト代表クズネツオフ氏宛、本日附書信を以て蘇聯內に引入れた東鐵所有機關車八十三輛と、客車十九輛、貨車三千二百輛を一ケ月內に返還されたいと、期限付の最後通告を發した

對策協議に
森第五課長歸京す

【新京十三日國通】中央からの召喚により本日午後三時半ハルビンから急據歸京した森交通部第五科長は、東鐵問題に關し左の如く語る
蘇聯側の不法トランスフアを官力阻止した交通部の措置は、當然の事でクズネツオフの我方に提出した抗議は全く當らぬ蘇聯側が不法行爲を繰返さゞるを保證し且不法行爲により東鐵に與へたる損害を補塡せざる限り如何なる形式による抗議も無力だ、交通部としては東鐵に關する蘇聯の非合法行爲をあくまで阻止するのみでなく、積極的に斯くの如き不法を敢てする執行機關における權力の不均衡を根本的に匡正すべき確固たる決意を有す、之は共同管理の精神を徹底し、眞の滿蘇親善を圖る故で、假面をかぶつた親滿態度は我方の受け容れ難きところだ滿洲國側としては公正な立場より東鐵內部に於ける權力の均衡を圖り、東鐵本位とした管理經營を爲さんとするもので、この公正なる主張の前には何人と雖も抗議の餘地はないであらう

重視さるゝ
蘇聯の回答

【ハルビン十三日發國通】東支鐵道李督辦は十二日副理事長クズネツオフ氏に對し、書簡を以て現在蘇領內に引込まれたる機關車百輛及び貨客車の一括返還を要求した、右に對する蘇聯側の態度如何によつて本問題の歸趨が徹底すべく、クズネツオフ氏が如何なる回答を發するかは、頗る重大視されゐ、因に引込まれたる車輛數左の如くで總數約三千九百輛に上つてゐる

引込み車輛內譯

車種	輛數
輕機關車	八十三輛
客車	百九十三輛
貨車	約三千二百輛

內務異動

【東京十二日發國通】內務省異動は本日左の通り發令された

任內務事務官命警保局勤務　高知縣警察部長　近藤壤太郎
任高知縣書記官補警察部長　內務事務官兼外務事務官領事　赤木毅之

永野全權より
軍縮會議の經過報告

【東京十二日發國通】海軍では十二日午前十時霞ケ關海相官邸に海軍側軍事參議官の參集を求め伏見軍令部長宮殿下加藤、山本、谷口の各大將以下海相、藤田次官、高橋軍令部次長、寺島軍務局長、岩村高級副官等出席今般歸朝した永野中將より軍縮會議其の後の經過並に聯盟の模樣等につき詳細報告、次いで寺島軍務局長より新京に設置の駐滿海軍部滿洲對策に關する報告後午餐を共にし時局問題に對する意見の交換を行ひ一時過ぎ散會した

武器禁輸の
結果はこうだ
佛國實業家語る

目下在奉中の佛國實業家ボアキツー氏は多年武器關係の事業に從事し、日本內地の工業現況に對し相當の識見を有してゐるが、同氏は現在『聯盟』で問題になつてゐる日支那側に對する武器禁輸問題に關し左の如き極めて公平な意見を有してゐる

近年日本に於ける軍事工業は非常なスピードを以て發展して來た、大正の初め頃は軍艦等も外國から買入れる樣な狀態であつたが今日に於ては世界無比の軍艦を建造し、無敵艦隊を建設した、陸軍方面の武器についても同樣である、大体今日日本が今日より供給を受ける軍器はほんの一部で之等とても恐らく將來は『解決』されるべき性質のものだらう、だから若し各國が舉つて日本に對し軍器の禁輸を斷行するなどと云ふことをわいわい騷げば騷ぐ程反對に日本軍事工業精神を刺戟して日本は今日迄より以上のスピードを以て發展し所謂工業のエボリユーシヨンを起し完全なる工業獨立を爲すであらう、英、米などが此の事を多少諒解してか十分諒解してゐるの[illegible]

萬である、支那に對しては數年前迄軍器禁輸を協定して居たが何等の效果をも齎さなかつた、各國は自國製品を『密輸』すゝに吸々として來た始末ではないか、丁度米國が禁酒法を施行してから佛國のシヤンペンが同法施行前の數倍も賣れる樣になつたと同樣である、權力の伴はない聯盟は三文の價値がない聯盟は學生の討論會の樣なものでそんなものは放つて置けばよいではないか、云々

米國の招請
に關し
外相參內御裁可を仰ぐ

【東京十二日發國通】內田外相は十二日午前十時二十五分參內、陛下に拜謁米大使から近くワシントンに開かれる國際經濟會議豫備商議に帝國政府代表派遣方の招請に接したので政府は欣然參加することに決定の旨奏上御裁可を仰ぎ御下問に奉答同五十五分御前を退下、同十一時齋藤首相を官邸に訪問右の次第を報告、午後米國政府に參加の回答を發することゝなつた

米國の招請に
欣然參加に決定
十二日米政府に回答
有田次官から交涉

【東京十二日發國通】內田外相は本日午前十時半參內、米大統領よりワシントンに於ける經濟會議豫備商議に帝國政府として參加通告を出す事に決定の旨奏上御裁可を得たので、正午出淵大使宛次の如き訓令を發し口頭をもつてハル國務長官に通告せしむる事とした
今回米政府の勸誘せる世界經濟豫備商議に對し帝國政府は欣然參加に決定せり、之がため派遣すべき帝國代表の使命は追て訓告すべきも、ワシントンに行はるゝ豫備商議の議題の範圍程度等を詳細米當局と協議懇談の上報告されたし

【東京十二日發國通】豫備商議の帝國代表は諸說あつたが內田外相は石井菊次郎子を推擧し、午前十一時齋藤首相を訪問して協議の結果、石井子の蹶起を促すことに正式決定を見、本日午後有田次官より交涉をさせたが石井子は聯盟總會開催中外遊するとの意向 [illegible] と期待され、受諾せば直ちに任命される筈である、政府としてはワシントン會議に引續きロンドンの本會議にも出席せしめ、場合によつては別に經濟方面の政府代表をも詮衡するかも知れぬ

米國派遣の
帝國代表
石井子に內定

【東京十二日發國通】世界經濟會議豫備商議の爲ワシントンへ派遣すべき帝國代表の人選に就ては十二日內田外相と齋藤首相との間で前樞密顧問官石井菊次郎子を起用するに決定を見た、依つて外相は十四日の閣議で右の旨報告各閣僚の諒解を求むることゝなつた

世界經濟會議
支那代表
宋子文か王正廷と內定

【上海十二日發國通】王正廷は十二日午前十時宋子文と長時間に亘り世界經濟會議代表問題を議したが宋子文が出馬せぬ際には王正廷が出馬することに內定したものゝ如く王の秘書の談によれば宋子文の表は確實であると

松岡代表
フーヴアー前
大統領と會見

【サンフランシスコ十一日發國通】松岡代表は十一日午後四時パロアルトのフーヴアー前大統領邸を訪問し、一時間餘に亘り極東問題を中心に懇談を遂げたか松岡代表は十二日午後四時半より十五分間ナシヨナル放送會社より全米に向つて最後の別れの挨拶を放送の筈である

九千噸級
潛水母艦起工式

【橫須賀十二日發國通】本年度の豫算による最初の建艦計劃として九千噸級潛水母艦一隻の起工式は十二日午前一時を期して行はれ村田工廠長は銀の小槌を振つて第一船臺上に龍骨を据え最初のリベツトを打込んだ、同艦は本年十一月中進水式を終る豫定である

鶴見總持寺の
執政眞影
奉戴式

【東京十二日發國通】昨年滿洲國實業團が來朝の際鶴見總持寺が滿洲國平安祈禱を行つたのに對する御禮として贈られた溥儀執政の眞影と扁額は十二日午前八時二十分橫濱驛に到着總持寺關係者に迎へられて自動車で十時半總持寺內の奉戴式場に運ばれ滿洲國公署原參事官他六名其他關係者多數列席、盛大なる奉戴式を擧行頭山滿翁の發聲で日本皇室及び滿洲國元首の萬歲を三唱正午式を終つた

天照園移住民
の活動

【奉天十二日發國通】去る三月二十八日奉天通過東上した天照園の農業移民三十名は目的地山遼に到着すると共に勸業公司の農場に收容され、昨年より耕作に從事してゐた守備隊の除隊兵三名と一しよに當日から高粱飯を食ひ、勸業公司から農耕資金を借受けて本月初め意義深い第一の鍬を入れた、目下既に一人當り五町乃至十町步の作付けを終つてゐるが、近く天照園の移民二十名が更に來滿することになつて居り、五十三名の若い日本人開拓者の今秋の收穫が期待され、その成否は日本人の滿洲移民の成否を決するものとして注目されてゐる

原田男突如訪問
藏相の眞意を叩く爲

【東京十二日發國通】西園寺公秘書原田熊雄男は午後二時官邸に高橋藏相を訪問して約卅分政局に關し懇談した、續いて岡崎邦輔氏と三時十分から十分間、更に栗野愼一郎氏と三時四十分から廿分間、山本條太郎氏と四時四十分から會見して政局に關する意見を交換した
原田男の訪問は西園寺公の意を受け高橋藏相の政局に對する眞意を聞いたものと見られ重要視されて居る

協和會近信
發行を中止

滿洲國協和會では協和會通信發行中の處、諸種の都合により通信の發行を廢することゝなつた

別科生の
徵集延期校決定

【東京十二日發國通】學校令に依る學校の研究科、專科等別科の學生に對する在學者徵集延期に關する規定適用については文部、陸軍兩當局で協議の結果左の十五校の別科在學者に對し徵集延期の特典規定を適用することゝなり、近く陸軍省告示を以て發表されることゝなつた
東京高等師範、廣島高師、盛岡高等農林、岐阜高等農林、鹿兒島高等農林、東京高等蠶糸、橫濱高商、名古屋高商

商、東京高工、桐生高工

アマゾン開拓の
若人
一行出帆

【東京十二日發國通】各方面から熱烈な激勵を與へられて居た日本高等拓殖學校の男六十七人其花嫁十一人のアマゾン開拓一行は愈々十二日午前十時橫濱出帆の大阪商船らぷらた丸で抱負と希望を目指して晴の門出に上つた、同船は神戸より香港經由南米に向ふ筈である

人事往來

▲照財政部總長　十二日午後零時三十分吉林へ
▲孫吉林省實業廳長　同上
▲渡邊一等獸醫正（關東軍獸醫部長）十二日午後七時五[illegible]一分來京
▲坂本中佐（關東軍憲兵隊司令部附）同上
▲腰崎鍛一氏（前大阪每日新京支局長）十二日午後十時南行
▲程國瑞氏（建國第二軍長）十二日午前八時來京
▲酒井清兵衛氏（吉長吉敦國代表）十二日午後七時五十分來京

團體

▲大同學院新入學生七十名十三日午後三時三十五分來京

逃走した未決囚 難なく今曉捕はる

二ケ所で窃盗を働き入質し 變裝して投宿中を

新京署後藤刑事の殊勳

十二日午後三時ごろ新京總領事館刑務所未決收監の窃盗犯人前科四犯松岡政和(三三)が作業中看守の目を盗み裏土塀を乘こへ逃走したことは朝刊既報の如くであるが急報に接した領事館警察並に新京署では極力犯人捜査中十三日午前七時ごろ犯人が三笠町一丁目吉田屋旅館に投宿してゐるを新京署後藤刑事が發見し逮捕した、犯人が吉田屋旅館投宿迄の經路は午後三時ごろ作業中看守の目を盗み巧に官舍裏に走り、土塀の壊損されてゐる個所を乘越へ五馬路に飛出て同路の滿人金定量方に侵入し黑オーバー一着を窃取變裝し、その足で三馬路に飛び同路内地人木村秀雄方に忍び込み茶色オーバー一着を盗み馬車を走らし吉野町の羽後屋質店に行き同家で茶色オーバを七圓で入質し、市内盛場を徘徊、午前零時ごろ吉田屋旅館を訪れ投宿し、宿帳に三笠町一丁目七十三番地自動車運轉手中村一夫(二四)と記してゐるを後藤刑事が發見逮捕されたものである

落着き拂つて縛についた犯人

殊勳の後藤刑事談

逃走犯人松岡政和(三三)を逮捕し武勳をたてた後藤刑事は左の如く逮捕までの經緯を語つた

犯人はさきに吉野町乾寫眞館に侵入しパイロット寫眞機一台を窃取した奴で、當時自分の

『手で』逮捕したるのである、松岡が刑務所を逃走したとの急報に接し自分はさきに犯人を取調べたこともあり犯人の特徴を充分知つてるた關係上先づ犯人の廻り先をあさつたが何等の形跡がなく、今度は旅館につき調査を進め吉田屋旅館を訪れるとともに三笠町一丁目七十三番地自動車運轉手中村一夫(二四)行先吉林と書いてあつたのを認めた、その際

『六感』の働きと云ふか三笠町一丁目には七十三番地はないのでまづ不審を抱き今江警部に事情を述べ中村の室を訪れたところ犯人は落付き朝食を攝つてゐた、一寸見た時は人相が變つてゐるので變だと思つたがやはり特徴がものを云ひ、大聲一番「松岡」とどなると松岡は箸を置き頭を下げ「お役人濟みません」と言ひつゝ兩手をさし延ばした、流石

『前科』四犯を犯した犯人とあつてなかなか落付き拂つた態度には驚かされた

强盗殺人犯十四名 共謀して脱獄を企つ

巡警と亂鬪の後二名遂に脱走

奉天第一監獄の騷ぎ

【奉天電話】奉天大西門裡奉天地方法院第一監獄第六號に收容中の殺人强盗犯十四名は豫てより不穩の氣配あつた處十二日午前三時半頃に至り共謀の上鐵柵を取はづし看守所をおそひ、看守八名をしばり上げて銃器を强奪塀を乘越へて逃走せんとしたが逸早く之を感知した附近巡邏中の巡警が第一警に急報應援警官かけつけ逃せんとを企てた囚人との間に物凄い銃火を交へ遂に三名を射殺、九名を逮捕したが殺人犯劉宗昌(二八)同李明賢(二三)の兩名はドサクサにまぎれて何れにか逃走目下嚴探中である

憲兵隊の大捕物

密偵と稱する阿片密賣者

【四平街支局發】四平街憲兵隊では去る九日午前十時四十五分闘取締憲兵の手によつて獨立守備歩兵第〇大隊の證明書を有する密偵と詐稱する匪賊頭目奉天省北鎭趙家院子生れ當時遼源縣鄭家屯居住の金好事張紹文(三二)を逮捕したが嚴重なる取調べによつて彼れの慘忍極まる劫掠と匪賊頭目たるの素情を秘して日本守備隊密偵と詐つて良民に對して壓力を用ひて不法行爲を敢てし日滿軍警に向つては反日反滿的の工作を之れ事として居たものであつて、恰かも九日午前十時四十五分着列車で奉天附屬地瀋陽旅館内第十七號寄宿滿洲人陳畊廷なるものより四平街鐵東市街[illegible]義當方迄阿片の密送を依頼され下車したる折慧眼なる憲兵の手に逮捕されたるもので彼は阿片時價數百圓のものを巧みに体に卷附け居たるものであつた

尙ほ犯人

一、滿洲事變直後双山縣にて部下を糾合八十名の賊團を結び同縣下を橫行殺人、放火、强姦、掠奪等暴虐の限りを盡した

二、昨七年十月中間に至つて一時右賊團を解散當時洮南滿鐵公所密偵であつた王品と深く交り當時より彼も日本守備隊密偵であると詐稱、同地方の良民に脅迫は暴行を加へてゐた事實がある其間日滿各警備機關の狀況を調査して僞勇軍に報告襲擊に對する便宜を與へて居た

三、八年三月二十一日一回二十七日一回三十一日一回四月九日一回合計四回に亙つて奉天より四平街を經て洮北方面へ多量の阿片密輸を爲したる事實ある

以上犯行明白となつたので憲兵隊では一件書類と共に身柄は梨樹縣長に引渡した

三福主人 猫八を戰傷病兵慰問に

城内五馬路料亭三福主人鹽塚氏は當地來演中の猫八一行を率き戰傷病兵慰問のため十三日午後一時衞戍病院に出演せしめた

從軍記者に從軍章

軍當局の方針決定す

新聞、通信社の從軍記者は從來戰地で活躍しても何等酬ひられるところがなく軍の將士に比して相當の距りがあり且つ一般國民もまた左程の關心を持たぬといふ有樣で案外惠まれてはゐなかつたが今回軍部當局では從軍記者に對し夫々の活動狀況に依つて從軍記章を授與するといふ方針に決定したと傳へられてゐる。

金の延棒十本

價格一萬圓詐取さる

【大連十二日發國通】東京天賞堂で二萬圓の金塊を强奪した犯人は未だに

『逮捕』されず全國的に搜査網を張りめぐらし搜査中のところ、大連にも之に似つた一萬圓金塊紛失事件が持上れ、ゴールド。ラッシユ時代にふさはしいセンセイションを捲起してゐる

青島淺住多三郎(五二)は數年來青島で金貸業を營んでゐたが金價暴落で日本の金が今に紙屑同樣になるとの噂を信じ利殖に拔け目ない淺住は貸した市中の金を回收し金の延べ棒を買ひ込んで置けば大丈夫と、金の延べ棒親指、五寸餘を十本約一貫目(一萬圓)を買ひ込んだが、最近その處分に困り大連で密捌かんとし、一見しても判らぬやうトランクの内側に裝塡し、去る六日神明町二ノ四の友人堀内某の家を訪れトランクを預けたが、外出から歸宅して見ると友人堀内が、刑事が來て持つて行つたと言ふので淺住は青くなつて屆け出でた、大連署では東京の金塊事件の

『犯人』も逮捕されぬ折柄何等かの關係あるのではないかと堀内及び妻ウメ(四三)店員池田(二七)の三名を引致嚴重取調べ中である

石本權四郎氏の埋骨式

【東京十二日發國通】熱河に於し非業の最後を遂げた故石本權四郎氏の埋骨式は、十三日午後三時から青山齋場で執行される事となつた

新京市民を脅した拳銃强盗犯人

取調べ漸やく終る

けふ身柄を首都警察廳へ

拳銃所持の强盗犯人が連夜の如くに新京城内外に出沒し各所に血生臭い慘劇事件を見るので新京署、憲兵隊、首都警察廳では極力犯人檢擧に努めてゐた處去月十五日市内

『大和』通り十五番地和順堂事呂興賓方を襲擊した犯人が新京郊外小合隆に潜伏してゐるを探知した新京憲兵分隊では時を移さず同月廿四日中村特高主任指揮の下に犯人の隱れ家を襲ひ逮捕したことは既報の如くであるが逮捕した犯人

▲本籍長春縣王子百氏子當時新京鐵道北孟家備無職袁中山(三三)▲本籍長春縣岳家屯當時

『長春』縣小合隆前岳家屯無職張福田(二八)▲長春縣三道溝當時同ト荀仁森▲長春縣馬家溝口當時同上王和(二九)▲長春縣第一區楊樹河子當時同上王忠山(二六)

五名はいづれも一件書類とともに身柄は十三日首都警察廳に送致されたが取調べの結果犯人の裏面には元匪賊頭目吉林省長春縣少合隆生れ青天事李子和(四九)が糸を引いてゐたもので李子和は配下約六百名を有し附近一帶に蟠居してゐたが昨十一月日滿軍憲の斡旋にて部下とともに滿洲國に歸順し

『清鄉』遊擊隊を編成同地の治安維持に任じてゐたものである然るに彼等は依然匪賊の行動をなたし本年一月以來新京に出沒し市民をおびやかしてゐたが犯人の自白とともに全部隊では勇敢にも小部隊をもつて青天の率ゆる自稱護國第三軍を襲ひ兵員の武裝解除をなし有力犯人を檢擧した

首都の表玄關

新京驛の改善設備

新京鐵道事務所では日增に增加する新京驛乘降客に對し便宜を提供すると共に眞に首都新京の表玄關としてはづかしからぬ設備をするべく研究中であつたが大体次の樣な設備を施し乘降客のサービスに萬全を期する事となつた

一、洗面所及便所を到着ホーム保線區事務所西側に設ける

二、現在のツーリストビユーローの裏に道路を作り郵便自動車貨物自動車の通路とし步行者の危險を除く

三、手小荷物の運搬をバッテリートラクターにし迅速を計る

四、驛前に人道を設計自動車馬車の危險を除く

本派本願寺 光岡師着任挨拶

新京祝町本派本願寺現在の南部法電師はさきに内地に歸還し其後任として旅順西本願寺から光岡慈昭師が着任十三日挨拶に來社した

新京放送局 愈よ十六日から

既報の通り新京放送局は新京東三馬路に竣成したので來る十六日午前十一時を期し華々しく開局式を擧行するので夫々關係方面に案内狀が發せられたその式次第は左の通りである

一、奏樂
一、開會之辭
一、開局之辭
一、經過報告
一、祝辭
一、祝電披露
一、萬歲三唱
一、閉會之辭
一、祝宴(立食)

(以上)

新京城内にも上水道を敷設

市政公署で立案中

新京特別市政公署に於ては城内居住者の不便を除くため豫てより城内上水道の敷設を立案中であるが此案に依れば目下配水をなしつゝある南嶺第一水源地より一ケ月八百噸、四馬路の民營給水所を買收して同じく一千噸、計畫中の第二水源地より同じく七百噸合計二千五百噸、を配水し得るものである

城内居住者も附屬地居住者同樣上水道の恩惠に浴することとなるわけである

全國十六ケ所で養兎養雞の講習會

社員聯合會評議員會で決定

新京に於ける滿鐵社員聯合會の評議員會は十二日午後零時より鐵道事務所内で開會され評議員二十余名出席來る二十八日大連に於いて開かれる同評議員大會に提出すべき議題四件を決定した、尙本年度に於ける事業部の實行項目として左の四件決定され四月より直ちに實行に移されることとなつた

一、四月公主嶺養兎養雞試驗場より專門家を招きてその指導の下に全國十六ケ所に於いて養兎養雞の指導講習を開始す

二、五月、社員有志の出演に依り三曲大演奏會その他を開催して軍警の慰問を行ふ

三、六月、郭家店へ花見

四、七月沙河口のブラスバンドを招き新京社員有志と聯合にて洋樂大會を開催す

五、八月、斯界の權威を招いて体育ボールの指導をなす

六、九月、社員巡回の映畫會を開催

七、十月、社員有志の出演に依る邦樂洋樂合同大演奏會を開催

八、十一月、講演會

九、十二月、斯界の權威者を招いて二日間に亘り社員にスケートの指導をなす

一月 講談會
二月 映畫會
三月 浪花節大會

莊嚴善美を誇る 關東軍司令部新廳舍

敷地二萬二千坪三階建の鐵筋

關東軍司令部は豫てから廳舍の新築を行ふべく專門家の設計を急いでゐたが此程完成を見模型も既に出來あがつたのでいよいよ本年八月から大林組の手によつて西公園南方の高地に東洋式大廳舍を建立する事となつた

關東軍司令部廳舍新築工事概要

一、位置 新京西公園の南隣高台、國都大道路の一角を占め其敷地は約二萬二千坪にして廳舍は南面して建築す

二、建築樣式 洋風を加味せる東洋式

三、構造 壁体煉瓦造各階床鐵筋コンクリート造にして地階は三階建中央塔九階建

四、外裝 一階花崗石張、二階以上人造石張り、正面玄關上部に菊花御紋章を裝着す

五、建物の大さ面積等 建物の形狀は1字形にして正面七十余間、奥行二十八間余、建坪約一千坪、各階延坪約四千百坪、高さは本館約六十尺、中央塔部約百尺

六、附帶設備 煖房は蒸汽式、電氣設備としてはエレベーター、電氣時計、電話、電鈴、ラヂオ、無電等一切を具備し便所は總て水洗式とし大淨化槽を通過して下水道に放流せしむ

七、工事費約百五十萬圓

八、工事期限 昭和七年八月起工、同九年八月竣工の豫定

九、工事請負者 建築工事大阪大林組

以上の如く建築樣式は滿洲國に最も相應しき東洋風を加味せしめ、構造は防寒施設に萬全を期する外一切の虛飾を避け建築材料は大部分滿洲產を使用已むを得ざるもののみ若干内地產を併用せり

内部設備は廳舍の外極めて簡素を旨とし事務敏捷、衞生、防寒等の諸設備を充實することに意を注ぎたり

廳舍は軍司令部の外一部外務省、關東廳方面に於て使用し得る如く施設せり

小樽の火事 女給四名男一名燒死

【小樽十二日發國通】十二日午前四時半頃小樽市花園町カフエー阿房宮から出火し、同家外二十八戸を燒失して五時二十分鎭火した阿房宮の女給四名、男一名は無慘にも燒死した

極東選手權大會を控へ

排球合宿猛練習

【東京十二日發國通】大日本排球協會は第十回極東選手權大會を明年に控へて不振勝な我バレイボールのレベル向上のため準備を進めて居るが、具体案に依れば今回擧行される全日本選手權大會の成績で約二十名を選拔して第一期合宿練習を行ひ、次いで神宮體育大會の成績を觀た上で第二期合宿練習に移り明年大會開催前に第三回合宿練習を行ひ嚴選ののち代表選手を決定し、從來の不振を挽回せんとするものである

坂本金治氏縊死

【横濱十二日發國通】郵船事務坂本金治(九五)氏は神經衰弱で、十日夜突然家出し縊死を遂げた

小村俊三郎氏逝去

【東京十三日發國通】小村俊三郎氏は昨十二日午前六時自宅で呼吸器病で逝去した、享年六十四才

同氏は宮崎縣人で高師卒業後北平に留學し支那新聞の經營に携はれる功勞者で外務省にも入つたこともあり、朝日、讀賣、日日等に關係し鐵筆を振ひ支那通の一權威としてその所論は言論界に重きをなしてゐた

常磐津大會

明夜五時から

尾上菊五郎門、常磐津操太夫改め二佐太夫名披露目大會はいよいよ明十四日午後五時から長春座で常磐津調正會新京支部の後援で華々しく開演する、應援として千菊師匠門下の開花、曙、千鳥等の藝妓連中が出演するのでそれぞれ御贔負筋がその又後援で頗る賑々しく前景氣を煽つてゐるから盛況うたがひなしであらう

プログラム第一に立方に出演の筈だつた壽の家妓連は同家に不幸があつたのでとりやめとなるか三世相錦繡文章の内洲崎堤の段、花舞台霞猿曳は曙連中、三世相錦繡文章の内十萬億土の段次け釣女これに千鳥連中で立方につる予小政小丸政千代が出る次に關の扉次に大森彥七は開花連中、立方に父丸文菊千龍圓丸が出演次、が神路山色錢…油屋の段これと前の十萬億土に二佐太夫の喉が聽かれる、最後に老松を社中一同總出演となつてゐるが春來る遲き新京の花に魁け長春座の舞台は同夜一時に百花繚爛と咲き亂れるの觀を呈するであらう

花街の噂

嬉野の小艶

少しくらひ値が高くてもね、こころで藝妓を聘んで遊ぶ人も同じ花代を拂ふのに、おもしろおかしく遊んだり遊ばせたり出來る妓もあれば然らざるものもある、などと頗る話が理窟ぽくなつたが、そんな理窟はやめるとして

×

こゝに新京新進のピチピチした活鯛のやうな妓を御紹介します、三笠町の料亭嬉野へ新らしく東京から來た小艶姐さん、生ッ粹の江戸ッ子です、まかりまちがつたら齒切れのいゝ啖呵を切りさうに思はれますが、果してどうか?

新京市場會社の鮮魚小賣相場表を見ると、その中で氷鯛と活鯛の値に非常に差がある、これは今始まつたことぢやないが、ちよつと昨日の表で見ると上等品の氷鯛つまり氷の中に貯藏した鯛が百匁六十四錢、活鯛即イケスの中に飼つて置いて需要に應じて掬ひあげて來るやつが百匁一圓三十二錢となつてゐた

×

腐つても鯛は鯛だと云ひますが同じことならピチピチ生きのいゝ方を誰しも望むでせう

ラジオ欄

十四日(火) 新京

奉天後五、〇〇 レコード
錢鈔金銀相場 商業通信社
新京後五、二〇 演藝
新京後五、四〇 講演
東京後六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 時事解説(滿洲語) 氣象豫報及滿洲語ニユース
新京後七、三〇 ニユース英語
新京後七、四五 ニユース(露西亞語)
新京後八、〇〇 ニユース(朝鮮語)
新京後八、一五 ニユース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇 時報
東京後八、三一 ニユース 東京中央放送局編輯

けふの銀相場

鈔票	金票	[illegible]
大洋	金票	[illegible]
國幣	金票	[illegible]
大洋	鈔票	[illegible]

ミス・ターニッポン

いづれ劣らぬ 堂々・巨體揃ひ
平均体重十六貫八百匁
大同學院新入生來る

滿洲國地方文化工作の第一線に立つて啓蒙事業に從事せんとする第二回大同學院新入學生七十名は十三日午後三時三十五分着列車で佐治誠治氏に引率され來京した、一行は何れも青白いインテリの影一つ見えず

＝質實＝ 剛健一九三三年のミスターニッポンを代表するに足る平均身長五尺七寸、体重十六貫八百匁に余る堂々たる巨軀の持主揃ひ眞に將來の滿洲國を脊負つて立たうといふだけあつて溌溂たる元氣に溢れるばかりの希望を秀でた眉宇に漂はせ內地各主要都市の高等專門學校より津浪の如く押寄せた中より選ばれただけある事を偲ばれる、變り種には四十三歲の村井陸軍少佐鑄護士

＝愛國＝ 學生聯盟指導者三原朝夫氏ほかに將校二名も交つて居り髭を生やした學生さんも數名あり中には片手に日本刀を片手に柔道衣を提げた物凄いのもあつた、十八日の入學式終了後異國情緒豐かな寬城子學窓で六ケ月間みつちり滿洲國の基礎王道精神に陶冶され卒業後は全滿各地の僻陬未開の地に副參事として赴任する事となる

各中等學校も 超滿員の繁昌振り
中途の轉入者が詰めかけて
高女では增築を申請

劃期的な躍進に伴つて日毎に激增する新京の人口は實に驚くばかりで新京の各學校は物凄い勢で增加しつゝある生徒が校舍に溢れ各

＝學校＝ 共增築の必要に迫られてゐる、特に新京商業、高女の如きは一教室毎に定員以上を收容し他で見る目も可變想な程の窮狀を持續してゐるので、新京高等女學校では學級增加と共に校舍の增築を必要とし昨十三日江部校長は荒木地方事務所長を訪れて現在の窮狀を詳細に報告し諒解を求むる處あり、又學校當局からも直接本社で申請する筈で近く

＝實現＝ するものと見られてゐる、なほ現在轉學の申込者は二年四名の缺員に二十一名三年の缺員四名に十四名四年一名に申込六名五年無缺員に一名といふ增加振りである

莊嚴美麗を誇る關東司令部新廳舍
（昨夕刊記事參照）

中銀の自動車 子供に衝突す
きのふ日本橋通で

十三日午後一時四十分ごろ日本橋通五十九番地品川洋行前道路で祝町四丁目十番地浦幾右衛門三男舍（六）が東北側から道路を橫切らんとした際中銀行自動車を五馬路雅利來車行自動車軍轉手王九令（二八）が操縦行員一名を乘せ驛前から城內へ向け疾走し來り同人に衝突左腕、顏面に擦過傷、胸部に打撲傷を負はした被害者は直ちに滿鐵病院に收容され應急手當を加へた生命には別狀なく、原因は目下新京署で取調中である

五、一五事件 結審期

〔東京十三日發國通〕五・一五事件の豫審終結期は政局の動きに重大だが、陸軍では五月末か來月初め、海軍では五月中に、司法處分は五月中に豫審決定するらしく十七日關係三省聯合協議會を開催し豫審終結期を協議する筈

日滿スポーツ 統制案を檢討
けふ文教部に於て
林田體育協會主事ら來京

昨十二日午後七時五十分大連より日滿スポーツ提携の二案を持つて來京した林田體育協會主事山本體育研究所主事は滿洲國體育協會係員と十四日の文教部に於けるスポーツ統制案協議を前にして種々打合せを行ひ忌憚なき意見の交換をなした滿洲國体育協會では滿洲國體育協會の意見も充分考慮し、十四日午前九時より文教部に臨み日滿スポーツ提携案を檢討決定することになつた、出席者は陳禮教司長、古閑社會教育科長、武田體育係員その他吉、黑、奉三省新京市政公署、東省特別區より各二名宛出席するはず

水泳選手 米國派遣決定

〔東京十三日發國通〕日本水上聯盟では十二日午后五時より神田の青年會館に委員會を開催、既報米國よりの招待に對して選手十名以上、コーチ一名を派遣するに決定しその旨直ちに米國アイ、アイ、ユー宛返電を發した選手一行は六月中旬橫濱出帆の豫定である

われ等が愛國機は 『滿洲』と名づく
春風薰る周水子飛行場で
盛大な命名式をあぐ

〔大連十三日發國通〕在滿邦人祖國愛の結晶たる我等の滿洲愛國六十四、六十五、六十六、六十七、六十八號飛行機（小型通信連絡機）命名式は春風薰る十三日午前十時周水子飛行場に於て

＝陸相＝ 代理小磯關東軍參謀長安藤要塞司令官、小川市長、永井民政署長、八田滿鐵副總裁、米岡旅順市長、其他多數官民參列の下に擧行された、式場たる飛行場の入口にアーチを設け、漫幕を張り繞らし日章旗翩翻と翻り飛行場周圍は觀覽の日滿兩國人を以て埋め盡す、帝國神官の諸儀式後小磯陸相代理に對し獻納者總代小川市長より經過報告後獻納目錄を贈呈すれば陸相代理より承認書を小川市長に手交し、更に陸相代理は神前に進み「茲に愛國の熱誠を以つて在滿官民有志より

＝獻納＝ せられたる飛行機小型通信連絡機（プスモス）を滿洲と命名す」との挨拶あり、關東廳長官代理其他の祝辭あり陸相代理より順々玉串奉典の後永井大連民政署長の發聲にて大日本帝國の萬歳を三唱して一時式を閉ぢたか式後直ちに愛國機の飛行に移り春陽に銀翼を輝かしつつ各種高等飛行を行ひ正午より祝宴を催した

十六日正午頃 愛國機がつく
きのふ正式に決定

吾等が愛國機滿洲號五機は十五日新京に飛來することになつてゐたところ、その後滿鐵地方事務所への情報によると十六日午前十時奉天發、同日正午ごろ新京着の豫定に變更された旨正式に電報があつた當日愛國機着陸の際、軍用飛行機獻納義金募集取扱所中央委員會では一般官民有力者を招待して簡單な祝宴を張ることとし、一日飛行場におちついてのち、再び五機揃つて首都の上空に現はれ一般市民に感謝の意を表することになつてゐる

銃器所持者 實に一萬七千
長銃が三分の二で
首都警察でも驚く

新京首都警察廳保安科では昨年十二月から暫行規定に基き管內の拳銃、長銃所持者に對し銃器攜帶所持許可證を交附することになり受附を開始したが、現在迄に屆出許可證を得たものが一萬七千八、內長銃所持者が三分の二に達し、

匪賊と交戰

〔安東發〕十日午前十時頃日滿提携の討匪軍は鳳凰城縣第四區內白旗堡方面に於て鄧鐵梅以下一千餘名の匪賊團と遭遇交戰約三時間に亘つたが未だ双方の損害不明である

新京商業生 母國見學
（第五信）

□…朝まだきの街はほんやり煙つて絲のやうな細い雨が音も無く降りしきつてゐる。二日間の華やかな床しい京洛の情緒の名殘りを甘い夢の後の心地で、旅裝を整へ小雨の中を驛へ小走りに急ぐ。

□…やがて汽笛と共に電車は深い沈黙の京都を後に新しい見學の目的地奈良へと急速に走る小半時車中で輕い睡りを催してゐる中に早や奈良へ到着、構內へ出ると此處も又雨だしぶきが疎らに肩にかゝる浮かれ氣分で春日山行きのバスに乘る。輕い反動を快く身に感じながら、ぎつしり詰つた平屋町を走り拔けるともう春日の御山だ。全山悉く青葉に抱擁された春日山は優しい春雨にその綠をより一層濃く見せて靜かに遙かなる奈良全市街を見下してゐる。車は山道を更に上へ〱と登る。密林又密林。兩側の木々は一瞬のうちに先を爭つて後へすざつて行く。急勾配を一氣に登りつめて山上に着いた。

□…全く一面のひどい霧だ。木の葉はかすかな雨に搖られて全身を躍らせ歡喜に浸つてゐる。のぺつに濃く灰色に塗りつぶされた空に、遙か雨にかすむ脚下の小さな市街は程良い色の調合を見せてゐる。周圍の山々もしつとりうるんだ綠の中につゞくまつてゐる。何といふ優美な山岳だらう、壯麗な眺望だらう。赤土の果てしなく續く殺風景な滿洲の地、幽谷、深山神々しいばかりの綠の我等が祖國の懷しの母國の神祕な風景に親しく接し、肅然たる何ものかの力と衷心よりの崇敬と。はては祖國に育まれる人々に對する羨望とへ感じた。

□…山を下りると目の前には早や春日神社だ。砂利の參道を嬉々として音を立てて進めば眼の細い口の小さな愛嬌たつぷりな小鹿の群が、一寸さわれば忽ち折れる樣な細い脚でそぞろに歩んでは角の無い頭を上下に下げて宮詣りの人に物乞ひをする、人間におぢない其の態度、人の手から喜んで餌を食ふなど實にたまらなく可愛い。春日の御社に詣でゝ直ちに東大寺に急ぐ。いつしか雨も止んだ。雨後のすが〱しい清氣を快く吸ひ込みながら東大寺には入る

□…古代奈良朝時代の文化歷史をたゞ獨り止めてゐる此の奈良。京都と共に幾百年の間神國日本の帝都として君臨せる古代の奈良一圓の地。我々の期待はこの歷史に、この文化に懸けられてゐたのだ。架空の大佛を胸に大きく畫きながら希望と好奇にふるへる足を踏みしめつゝ佛殿に第一歩を入れた。と眼前に黑い巨大なものを直感した。直前から片唾をぐつと飲んで眞上を見た刹那何たる偉觀だ。默々[illegible]三尺の想像に絶する巨大な上半身を蓮座の上に托して鎭座ましましてゐる。我々の口から茫然の餘り一句だに感嘆の聲を發し得なかつた。奈良の上空高く古の文化を誇る東大寺と重の高塔そして生れてはじめての大佛。曾つての聖武天皇時代の旺盛なる佛敎文化。それを背景とした奈良朝文化に接し我々は何とも言へない歡喜に浸つた

□…奈良での快い見學を終へて午後一時一行意氣揚々電車にゆられ、國祖在します山田の地へ向ふ。小雨は又しげく降り出して車窓を叩く。天には陽なく車內はほの暗い。明日の參拜の事が頭をかすめた時思はず冒し難い靈氣の背中を走るのを感じた電車は今山田へ田舖道を東へ〱と雨を衝いて走る（公下上）

强盜續々檢擧
城內三署で十四名
それ〴〵逮捕さる

本年に入つて新京城內外に頻々として强盜事件が發生したのでこれが逮捕に新京署、首都警察廳城內各署、憲兵分隊で不眠不休の活動を續け犯人

＝逮捕＝ に大童となつてゐた處その効遂に酬いられ最近各署に犯人が檢擧されるに至つた十首都警察廳司法科で此昨年十二月一日午前九時西四馬路兩替業殷成業方を襲ひ現金六千三百七十九圓四十一錢を强奪し逃走の途中大經路巡警孫順消（二七）を射殺逃走した犯人王殿雲（三四）王財（三〇）外二名を十日逮捕取調べた處强盜八件を自白した大經路署では城內外十八ケ所荒し廻つた

＝强盜＝ 犯人九人を八日逮捕し長春路署では同樣强盜犯人安升（三〇）外一名を十一日逮捕し目下取調中であるが余罪多數にのぼる見込である

仲居さん豚箱入り
臨檢にうそは禁物

十三日午前一時ごろ福岡縣生れ、市內北門外東三馬路料亭宮川松男方へ新京總領事館警察署員が臨檢を行つた際同家仲居垣成タカヨ（三八）が係官に對し僞を申告したが直に發見され垣成は三日間の拘留主人宮川松男は科料五圓に處せられた

思想取締
警保局案決定

〔東京十三日發國通〕思想對策協議委員會に提出すべき思想取締案は警保局で昨十二日午后決定したが

一、國体變革の犯罪者は治安維持法以上の嚴罰を加ふ

一、治安維持法を擴大して該各團体へも適用すること

一、起訴留保、保釋は濫りにせぬ思想犯は一審制とす

右累犯の豫備的行爲を嚴罰する法令制定等八項目に亘つて居る

滿洲貨物 スピードアップ

〔安東發〕屢報の如く日本製品の滿洲流入は諸種の好條件に依り夥しく僞に、朝鮮鐵道局昨年六月一日より、釜山安東間に省通貨物列車を增設しスピードアップを圖り好績を納めて居るが今回更に滿洲貨物の、日本行スピードアップを圖り四月一日より安東釜山間兩行直通貨物列車を新設した。今回のダイヤ改正により殊に岐阜、福井行の特電系に取つて運賃の輕減、輸送の日數短縮され安東の荷主は非常な利便を得る譯である。

內務省駐在員決定

〔東京十二日發國通〕內務省のハルビン及上海駐在事務官は十二日左の通り決定近く赴任の筈

內務事務官 近藤條太郎 命ハルビン駐在
內務事務官 佐伯啓嗣 命上海駐在

寢食を忘れて 「われ等が恐怖を解消」
拳銃强盜犯人檢擧の殊勳者
新京憲兵分隊 中村主任と語る

夕刊既報、新京市民を脅かした拳銃强盜犯人逮捕、取調べに寢食を忘れて活動し、あつぱれ殊勳をたてた新京憲兵分隊中村特高主任は語る 一月以來新京城外に强盜匪賊が出沒し市民を恐怖せしめてゐた、小山

＝隊長＝ 原分隊長は このまゝにすておくことは出來ない、どうしても憲兵隊、警察の手で速かに逮捕して市民を安堵せしめねばならぬと常に激勵の訓辭をされてゐた、自分等としてもこれ等の徒輩を掃蕩して王道樂土の滿洲國の治安を圖るべく犯人の搜査に手を付けまづ和順堂を襲つた犯人が小合隆に潛伏してゐることを探知し充分に內查を進め漸くにして確證を握り

＝逮捕＝ をするにいたつたが、犯人の裏面には匪賊が糸を引いてゐることが判明し分隊員は朝早く夜は午前二時から三時迄も取調をなし、又朝午前五時乃至六時に目をさまし活動を續けたものである、本當に寢食を忘れてみごと犯人を逮捕し、且つ六百餘の武裝を解除をしたが一名の犧牲者も出さなかつたことは神樣のお蔭であり且つ、市民の援助目の努力にほかならないことゝ思ふ

高女旅行團 明朝歸る

新京高等女學校の母國旅行團一行は十五日午前八時着列車で歸京すると

お掃除の心得
清潔デーを控へ
新京署から一般家庭へ

新京署衛生係では來る二十三四兩日午前八時から正午まで管內の清潔掃除を施行することになつた、清潔デーに際し一般家庭で特に注意をせねばならない事項は左の通りである

一、一般邸宅の內外を清潔ならしむるため掃除を勵行せしむること

一、邸宅地先の道路の清潔を心得へること

一、邸宅內で濕氣ある場所には土砂、石炭灰くは木灰等を敷き乾燥を計ること

一、下水溝、下水溜、廁、塵芥箱等は清潔にし、且つ蓋等の破損は修理を必要とすること

一、行商露店、野菜果物商人は常に氣を付け自己の營業をなした个所を不潔にせざること

一、興行場、錢湯（大衆集合する場所）は夕と晝便所に氣を付けること

一、市街地において畜舍鷄舍を設けある个所は構造設備を完全にすること

賣國的の事實は？
憲兵隊頻に活動

〔安東發〕安義木商の某々等が安東居住の支那人と結託、張學良系へ軍需品として製函を賣込んだとの一部の報道は兩地の木商は勿論、一般民衆に大なるショックを與へ當局でも取調べを開始したが、目下のところ賣國的事實はないらしく平北警察部及び新義州署では積極的調査を中止し新義州憲兵分隊は天津の憲兵と連絡を取り該地に於ける事情を調查中である。なほ新義州と天津との製函取引は今に始まつたものでなく、數年前から新販路を開拓し每年盛に取引し、煙草、マッチ、林檎入れ等に使用されて居るらしく、軍需品としては用をなさぬものらしいと

馬十傑さん 憧れの日本へ
滿洲新女性の花形
目白の女子大學に入學

滿洲國協和會の婦人班を背負つて立ち、昨年五月以來目覺ましい活躍振りを見せてゐた馬士傑さん（二二）は今度東京目白の日本女子大學に入學することになつた旨協和會中央事務局へ報せがあつた、馬さんは奉天高女出身、さきに滿洲國獨立承認促進のため婦人使節として憧れの日本を訪れ各地に遊說して天晴れ滿洲婦人のために氣を吐いた人である

新京記者協會
楢崎氏送別會

新京日本記者協會は十二日午後六時から賓宴樓で春季總會を兼て楢崎觀一氏の送別會を催したが出席者四十餘名、箱田幹事の會務、藤田幹事の會計報告があり後任幹事に朝知中氏、國通の藤井氏、大滿蒙の大石氏、滿日の菅原氏を推[illegible]事異動なく[illegible]大每氏送別の辭、楢崎氏の謝辭があり開宴盛會であつた內楢崎氏は門司支局長に就任せしと

花輪司法領事

〔奉天十二日發國通〕奉天在勤司法領事花輪三次郎氏は昨十一日附在ハルビン吉林兼務を命ぜられたが同氏後任には東京地方裁判所判事柳井雅生氏が任命される事になつた

鐵道を守れ
協和會のポスター配布

五族協和、大同團結をモットーとする協和會では先般「鐵道を守れ」のポスターを奉山沿線一帶に配附したところ意外の好績を示したので同會では右のポスターを滿鐵、滿鐵沿線一帶に配付すべく目下兩當局に交渉中であるが右は滿語にて「鐵道を守れ」と大書し健康な滿人の國防意識をシンボルしたものである

▲南嶺の小菊、昨夜長春座でいさしい彼氏とビールの栓を拔きながら、いとも朗かにばしやいでゐました、公衆の目前であまりいゝところを公開するのは罪ですよ▲小櫻の榮子、奉大の彼氏に色々誌を送つてゐました私のものは貴方のもの貴方のものは私のものといふ共產主義ですいゝの〱それでいゝの▲新富の小太郎、忠實に職務を遂行していましたのに不運なるかな〇虫に侵されて入院〇虫の驅除につとめてゐたが一日目出度退院しました、然し重なる不幸は第一日美事御茶を引きました、親切なお方よ何卒行つてやつて下さい

天氣と氣溫

十三日の氣溫最高十二度三最低零下一度十四日の天氣東南の風晴れ一時曇り

新京區公示第一號
范家屯區公示第三號

新京及范家屯區昭和八年度課金審查委員會委員左の通委囑せり

昭和八年四月十二日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

一、新京區
新京中央通三〇 勸崎仙英
同千島町一ノ二 得丸勘太郎
同蓬萊町一丁目ノ十 久末吉次
同吉野町一丁目二 島名福十郎
同日本橋通三三 岡田小太郎
范家屯區
范家屯榮町驛構內 小松六郎
范家屯南大一ノ一 岩尾君治
同 四 狩野茂
同北大街一一 王關亭
同南大街一二 程變臨

婦人と家庭

母さん方

亂暴ですね！
赤ちやんの「おむつ」
生きながらの地獄の責め苦

『赤ちやん』におむつをさせるといふことは何時何處に於てもきはめて當然なことでありますが、世のお母さんは、たゞこれまでの習慣を受けつぎ、まもつて居られるだけで、健康の素であるおむつについては、どうかもう少し頭を働かせ、研究的であつてほしいと思ひます、ではこれまでのおむつにどういふ缺點があつたか調べてみませう、先づ、ゆかたの古などで長方形のぬつてあるもの、『輪に』それを三枚も五枚も用ひて間へはさんだり、まはりをくる／＼巻いたりすること、そしてその上にゴム引のおむつカバーをすることなどでせうが、第一にそれでは足の自由が非常にさまたげられて、足から腰の發育をおくらすばかりか、足の關節をまげてしまふことさへあるのです、外國人に比べて日本人の足のまがつてゐる理由をたゞ疊に座るからとだけではすまされなくなりました

次に、すり下るからといふのでお腹の上の方までおむつをもつて行くのが『普通』のやうです、そのためには、肋骨の上を壓迫することになるので、大變よくないのです、次におむつカバー、ゴム引のをさせておくと、外までしみ出ることがないので、お母さんは大變樂でせうが、そのために濡れたのをそのまゝにさせられてゐる赤ちやんは皮膚呼吸はさまたげられる、からだは冷えるといふやうなことから悪い影響は大人の想像以上です、さて、ではどんなおむつが理想的か、アメリカヨーロツパにはおむつに大變よい生地の布がありますが日本で簡單にお安く求めようと思へば、まあ冬は白の綿ネル

『夏は』サラシでせう、それを相當大きい長方形につくつておいて（兩方とも大巾六〇—七〇センチ丈位、なほサラシの方は薄すぎますから二枚にして）適宜に折りたゝんで、足の間にはさみ、兩脇でとめるのですとめるには前後に紐をつけておくのもよし、注意して使へば安全ピンでもよし、たゞはさんでおくだけでも、その上にやはらかい毛糸編のカバーをすればおちる心配はありません、毛糸のカバーにしても餘り長くないものを用ひると、前にも申上げたやうに、胸のあたりまで來るやうなのはさけることです、最近相當大きな

『子供』のズロースにしてもさうした理由によつて、上の長いつまり腰の深いのはよくないといふことがアメリカでは盛に云ばれてゐる位です次におむつの洗濯について注意したいこと、これアメリカのことですが、私のゐた病院で、あるとき入院してゐる赤んぼの殆ど全部おむつのあたつてゐる部分の皮膚がたゞれてしまつたことがありましたいろ／＼と研究した結果、これを洗つた石鹸が悪かつたためだつたといふことがわかつたのです、つまり、アメリカの強い石鹸を用ひしかもあとのすゝぎが十分でなかつたからなのですでそれをあらためると同時に全部なほつてしまつたのですが、どうか皆さんの御

『家庭』でも、殊にお寒い折にお湯がなかつたりしつゝあとのすゝぎが不十分だ、或ひは石鹸のついてゐることがあつたりしがちかもしれませんその點にもお母さんの細かい心づかひを忘れないやうにしたいものです

母國見學 高女生旅行記

第九信

根占富子
白水恒子

上野發—日光—東京着まで

四月四日私達は東京第一日の見物をあはたゞしくすませて自動車から降りてそは／＼しつゝ日光線の車中の人となつた賑やかな東京驛高いビルディング美しい街は汽車の前進によつてかきけされた次に田舎の風美にかわるせはしい東京の見物に體をやすめた私達は田舎の田の面に長く延だ青々とした水々しい若草に一しほのどかさと落着きを感じたあちこちに微笑をふくんで春を待つ櫻の蕾の愛らしさよこさ／＼く色どられて春の青春によろこびは滿ちあふれてゐる、ふみきりにたわむれ遊ぶ幼子の中には木綿のねんねこに赤ちやんを背負つて遊んでいる風景は到底滿洲では見られない純朴さでした又幼子のよく口ずさむ「椿」の歌を思わせる樣に赤い椿がおい茂つた綠葉の間から愛らしい顔を私達になげかけてゐる約三時間の後うす寒い風のたゞよふている日光の淋しいプラツトホームに着小西旅館に投宿翌五日は朝霧に包まれた市街を先づ私達はタクシーにのつて中禪寺湖へと向つた馬返しにて車を下りてケーブルにて明智平着明智平よりは脚下白雲に包まれた連山を見下し模糊の間に富士山筑波山を遠く望む樣こそは眞に雄大な景色でした。再び自動車にのること十數分間中禪寺湖につく細い坂道を下りて華嚴の瀧を見る、凍つた華嚴の瀧を見たゞけで眞の美景を見る事が出來なかつた私達はどんなに失望した事でせうそれより中禪寺湖に向ひました海拔四千三百九十三尺の大湖は白衣を着けた八千二百尺の男體山の雄姿をバツクにして南麓に位してゐて幅一里周りは七里二十一町縱は三里あるとのお話です藍青の色清い澄んだ廣々とし、湖水の深底に神秘の妙をきはめてゐる。銀錯白鉛倒影する中禪寺湖、たなびいた霧を引き白根連峯をひかへ男体山に茂る白樺から松の雄姿を海面に浮べ二荒神社中禪寺立木觀音々夏の夕べに親しき友と語りつゝモーターボートで巡遊して見たい樣です、私共は忘れがたい心でなごりをおしみつゝ紀念寫眞をとつて東照宮へと向つた蒼々とした杉並木を右左にみて私達は東照宮に着いた、御祭神の家康公は元和三年當地に御改葬になられた、同年朝廷より東照宮大權現といふ神號を授けられ正一位を贈られ正保二年には宮號を賜はりそれから東照宮と申し上げる事になり明治六年に別格官幣社に列せられたさうです仁王門をくゞると上中下の三神庫があり、何れも假倉造で皆趣を異にして造られてゐます、上神庫は切妻に狩野の探幽の下繪の浮彫にした二頭の大象がある輪藏前の石段を昇ると左右柵の親柱に右で彫刻された獅子がある この獅子は石柵にとびこんだ形をしてゐるので飛込獅子といひ又「恐悦の獅子」ともいふこれは三代將軍家光公が御覧になつて非常に御滿足なされたところからいふのだそうです陽明門前左右にある建物は鐘樓です 鐘樓前にある廻燈籠といつて寛永十三年オランダ國の獻上で黄銅製九角形になつてゐます、是は歐洲中古の手法で中心に軸柱があり自由に動くのだといふことです、上部の九つの葵紋は皆倒になつてゐます。外に釣燈籠燭台がありました次に鐘樓の裏に藥師堂があります、境は建物中書大なもので天井に世に名高い狩野永眞齊安信のかいた大黒繪がありました次!!次は私共の今日の見物の中心の陽明門この門は禁裏の十二門の間の一の名を朝廷から賜つたものでその美その飾は終日見ても見あかぬ所から名を日暮門とも申されてゐる門昔は中に通され得なかつたかたい門を私達はこれからくゞらうとしてゐるのです、正面にかゝげてある額は後水尾天皇の御宸筆で誠に恐れ多い事です、「勅額門」と書かれた文字がはつきりうかがはれます中通二間の天井の畫は入方晩四方吹の龍といひ狩野探幽及び永眞齊安信の筆で柱に全部十二本の中柱には木目の斑文に利用した木目の虎があつて裏側の一本の柱は渦形の地紋が外の柱は渦形の地紋か外の柱に比して少し倒になつてゐるので「魔除の逆柱」といふそうです。陽明門を入つて左に神輿舍に向合つて神樂殿があります、その左の上社務所陽明門から續いてゐる東廻廊がおれて共の東にある この前の建物の中程に當るところに奥宮につつて添門があるこの門の上部の蟇股にある眠猫の彫刻は左甚五郎の作といはれてゐる

私達か旅行中一番待ちあぐんでゐた日光の美景の中に思ひがけぬ色々めづらしいものを見てよろこびにあふれた私達は日光の結構を味はいながら紀念寫眞をとつて旅館へと向つた、豫定より二時間早く午後一時二十分の列車にて東京に向ふ。（奈良松島舘にて）

海の外から

□さても精緻な模型 ドイツの器用な箱屋さんが有名なマンスター伽藍の模型を造つた、薄い金屬板二萬五千餘個、區畫部分一萬七千餘ケ所、消費日數八ケ月で、極めて精緻なものだ、繪葉書に刷つたところ飛ぶ樣に賣れるさうだ

□印度の家庭の福音 某ロシヤ人の造つた安値なミルク冷藏器は、ミルクを入れると忽ち凝固して長時間貯藏に堪えると云ふので、年中暑いインドの家庭で目下大評判

□折疊式ボートの流行 最近米國の女學生や兒童間に折疊式ボート遊びが大流行、全部防水布で出來てゐて、沼か池で釣りをする者さへボツボツ現はれた

新刊紹介

△卓球公論四月號社說選手は其所屬を判然たらしめよ卓球訓我國卓球界の現狀と其將來その他—一部金二十錢大阪市港區石田元町二丁目一四ノ三卓球公論社

△正義の力＝安田勝貞雪窓明成發賣會編非賣品

△滿洲改造（四月號）卷頭言書評點睛を喜ぶ—幽峯、壁に進軍滿洲國人事行政—高木翔之助—改造論讀人物月旦新京巷談、道聽途說等々一部金五十錢、新京大和通同社發行

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	二〇五	ハゲ	三九
中エビ	三〇	チヌ鯛	四六
オコゼ	二一	アナゴ	三五
マグロ	一〇〇	ムシ	三一
白魚	二八〇	コベ	二三
サヨリ	一二	ナマコ	二六
ブリ	五〇	カナカシラ	一五
アワビ	五八	ヒラス	四六
タコ	三三	カキ	二六
ボラ	三九	イヒダコ	三〇
ハマグリ	八	ヒラメ	一九
甲イカ	五〇	アサリ	七八
サバ	三〇	水イカ	二六
シジミ	七八	ボラ	三一
車エビ	六〇	カマボコ	一三
ウナギ	五五	チクワ	一一
ムキミ	二〇	カマス	三九
ホタテ貝	一一		

黒船往來

新聞紙上映及上演

（作）寺島柾史
（畫）布施長春

第五十八回

黒船の難題（四）

高島沖の黒船の、金ピカ士官たちの持かけた無理難題に、小樽勤番所の役人たちが、散々惱まされてゐる……といふ、耳寄りな話をふと洩れ聞いたのが、渡海日和待船所に逗留中の二人の北方探検家だつた。

板屋根、板圍ひの内地風な、二見屋と家號まである泊所の一室で、左京と武七郎は、ひそ〲と、このことについて語らひあつた。

『……かうなると、いよ〲われ等の歸京は遅れるのう。箱館近くの峠路で、ひろつて來たアイヌのチブヌイや、江戸の探査の箕浦のおかげで、これは、とんだ大物にぶつかつたわい。偶然とは申せ、そこに何かのつながりがあつて然るべしぢや』

武七郎の分別顔だ。

『いかにも、われらの見込通り、フランス軍艦が、オロシア軍艦同樣に、いよ〲わが領海を犯さうとするらしい。さうなると、イギリス國も、メリケン國も、默つて見てはをらぬだらう。このまゝの狀態が、このまゝ續くときは、必ずや蝦夷地は、彼等列强の自由に任せるよりほかはなくなる。おそろしい事だ』

左京の、激越な語調だつた。

『うむ、お主の申さるゝとほりぢや。先年オロシア軍艦二隻、樺太島の久春古丹を犯した際、わが君松前崇廣侯の英斷によつて兵を向け退去を命じ、幸ひ事なきを得たが、このせつは、わが君も江戸表に在住、幕政に參與してをられ、相變らず英武の御氣性を發揮せられる樣子だが、何分にも幕府老中の方々は因循姑息にて、わが君の献策立案を、ひねくり廻すだけで一向にらち明かぬと聞いて、われ等の主君の御胸中いかばかりかとお察し申してゐる。殊に最近にいたつて、列國が、いよ〲脅威的な態度に出るに拘らず、老中連が一向に對策を施さぬので、わが君も齒がゆくおもふてをられるであらうのう』

『何しろ、わが君が、先代の意をつぎ、致遠館を建て、西洋の兵法を率先して振興され、御自身兵を操縦なされ、海防野戰の技を練らるゝをきいて、松前藩がイギリス國と氣脈を通じ、幕府倒壊を企てゝゐるかの如く取沙汰する愚劣なる老中若年寄たちだ。その中にあつて海防の本義を説かれるわが君は、さぞお骨折でござらう。このたびの列强の我まゝな振舞なぞ、わが君さへ御領地に在さば決して彼等に指一本も出させはしまいに……殊に、高島沖のフランス軍艦の無理難題ごとき、小樽勤番所限りで一蹴出來たものを……おゝ、腕が鳴るわい。主命を帶て北方を巡邏するわれ等だ。御家老松前勘解由どのゝ御指示をまたず、今日この場において假面を脱ぎ小樽勤番所の土座に据わつて彼奴等黒船のだんぶくろ野郎たちを追拂つてやらうか……』

左京は、拳頭に握り拳をつくつて力む。

『ま、待て。それはいと易いことぢや。なれども、そのために事表立つてフランス軍艦の暴擧をはやめては、かへつて……拙者おもふには、この際彼等とおもてむき妥協とみせかけて、彼等の本心を探る役をお主とふたりがつとめてはどうぢや』

『なるほど。して、彼等に近づく手段方法は……?』

『さア、そこまでは……ただ、聞くところによると、今日小樽勤番所においての會見に、フランス軍艦より日本人の通譯官が參つたといふが、その通譯官に先づ近づく工夫をな……』

武七郎が、かういひ終つたとき隣室から、箕浦格之進が聲をかけた。

『お隣室へござらぬかな』